

「農業を楽しむ」

井出 智也 (32歳) Uターン
(今治市)



1 就農の動機・理由

幼い頃から、農業は身近なもので、手伝いをするうちに、いつしか「農業」を仕事にしたいと感じるようになった。

しかし農業の知識はほとんどなかったため、まず農業を理解する必要があった。農業大学校に入学し農業について学び、就農に至った。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和2年)	現在の経営 (令和5年)	将来の経営 (令和8年)
労働力	男1人(本人)	男1人(本人)	男1人(本人)
経営耕地	水田 63a	水田 85a	水田 100a
経営内容	さといも 60a ししとう 3a	さといも 80a きゅうり 5a	さといも 95a きゅうり 5a

○農業用施設

農業用倉庫 1棟

○主要農業機械

トラクター 1台

掘り取り機 1台

運搬車 1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県今治市

職歴 サラリーマン7年

就農研修歴

農業大学校

(H30.4.1~R2.3.31)

就農年月 令和2年6月

(2) 就農時の思い

就農計画を立てていくと同時に、5年後を想像して不安と楽しさがあった。失敗しても次に活かそうとポジティブな精神を心掛けた。なによりも「農業」が楽しいと思い、この業界に飛び込んだので、苦しい時も初心を忘れず、楽しむ気持ちを忘れないようにした。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

営農指導員や部会の先輩などに分からないことがあれば聞くようにしたり、栽培講習会に足を運び、知識のアップデートを心掛けた。

SNSなどを活用し分からないことがあればその都度調べるようにした。

(2) 資金の準備

農業大学校の際は、農業次世代人材投資事業(準備型)、就農後は農業次世代人材投資事業(開始型)を受給している。機械を購入する際は、JAおまかせ資金などを利用した。

(3) 農地・住宅の確保

父が米麦を栽培していたので、父から圃場を借りて新規部門としてスタートした。利用権設定の手続きが必要であったため、市役所の方と相談して進めた。住宅は、就農当初は実家で暮らしていたが結婚を機にアパートを契約し暮らすことにした。

(4) その他苦労したこと

就農1年目で甘長とうがらし300本が収穫2日目にして疫病にかかってしまい全滅し、頭が真っ白になった。適期防除の大切さを痛感した。

5 農業経営の特徴

経営の中心はさといもで、気温に左右されるが、3月から4月上旬までに定植を行い、適宜防除に努めるなど疫病対策に力を入れている。収穫作業中や選別作業などの際は好きな音楽を聴いて作業を行いリラックスして作業している。

6 これからの夢

機械に乗ることが好きなので、補助事業などを活用し、さといも収穫機、ドローンを購入し、省力化を推し進め、規模拡大していく予定である。

7 成功したキーポイント

農業で成功したと思ったことは、まだないが、4年目の今でも農業を楽しむことを忘れないようにしている。雨の日は仕事ができないので、休む時は休む。仕事をするときには1日の目標を決めてメリハリをつけることを心掛けた。

8 就農を目指す方へのアドバイス

就農すれば、自分の生活で精一杯になり、先進農家さんのところに視察に行くことはできても、一緒に作業することは

なかなかできません。就農する前に、いろんな農家さんに出会い、一緒に作業させてもらうなどすれば、いろんな発見があると思います。

○ 指導機関からのひとこと

井出さんは、明るくて誠実な人柄で地域に溶け込んでいます。さといもを経営の柱として積極的に新たな技術を導入され順調に成績を伸ばしています。

今後は、地域のリーダーとなって新たな新規就農者の相談相手となることを期待しています。

頑張ってください。

執筆機関

東予地方局農林水産振興部今治支局地域農業育成室
電話番号 0898-23-2570



里芋の収穫の様子